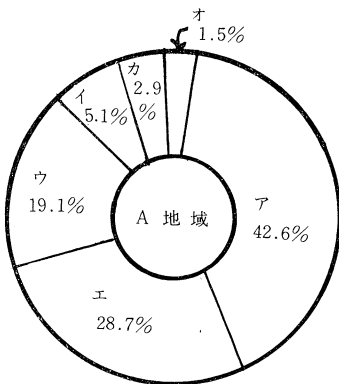
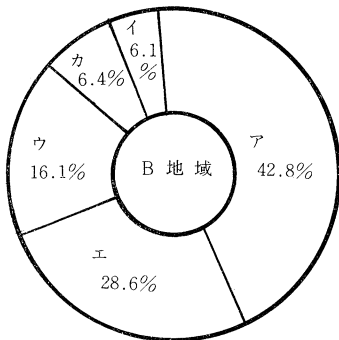


- オ. 子どもの教育について
 - カ. 日常生活における消費生活をよりよくすることについて.....
 - キ. そのほか(具体的に記入してください)
()
 - ク. とくになし
- ⑤ 個人生活上のことで学習したいこと。

第10図



第11図



- ※ア. 教養を高めること。
- イ. 体育・スポーツをすること。
- ウ. レクリエーションや趣味を楽しむこと。
- エ. 健康を管理すること。
- オ. そのほか(具体的に記入してください)
- カ. とくになし

5. 教育機器の導入と活用に関する調査

(1) 調査の趣旨

近年における科学技術の急激な発展や、経済、社会、文化のめざましい進歩に伴って、教育の現代化が今日的課題として提唱されてきた。

従来の多人数学級における教師中心の一斉指導のあり方が、人間に関する科学の新しい成果を取り入れることによって質的に転換され、個々の児童・生徒の能力の伸長を図るための学習方法が試行されている。

特に、最近、ティーム・ティーチング、プログラム学習をはじめ、V・T・R、O・H・P、アナライザー、各種プロジ

ェクターなどの教育機器を活用した学習方法が、教育改善への試みとして、本県でも具体的に教育活動に取り入れられている。今回の調査は、このような「学習指導の近代化」の視点に立って、福島県の現状を分析し、今後の動向を予測し、「教育改善」のための基礎資料とするものである。

(2) 調査の内容および方法

この調査は、① 教育改善に対する関心調査、② 教育機器の現有設備状況調査、③ 教育機器の活用状況調査の3分野に分かれており、調査問題を1～14まで設定した。調査票を各学校に配布し、該当欄に記号を付して提出を求めこれを集計した。

(3) 調査の対象

- 県内の公立小学校 733校(分校も含む)
- 公立中学校 299校(分校・分室も含む)

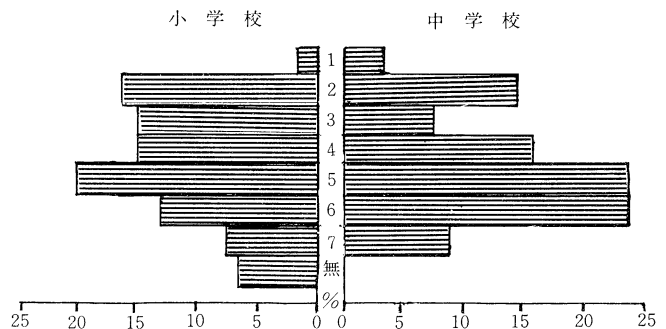
(4) 調査の年月日

昭和46年11月15日現在

(5) 調査結果

① 教育改善に対する関心

項目	1 関心が ない	2 話題が ある	3 中 学 校 で 計 画	4 中 学 校 で 実 践	5 一 部 教 師 関 心	6 一 部 教 師 実 践	7 教 師 の 実 践 的 教 育	8 無 回 答
小学校	1.2%	17.7%	16.8%	17.3%	13.5%	19.8%	7.4%	6.3%
中学校	2.3%	14.7%	9.7%	15.7%	24.4%	23.7%	9.4%	0%
計	1.6%	16.9%	14.7%	16.9%	16.7%	20.9%	7.9%	4.5%



② 教育機器の活用領域

活用領域	1 学 習 活 動	2 学 校 管 理 ・ 学 務	3 カ ン グ ラ ン セ リ	4 広 報 運 ・ 管 書	5 健 康 管 理	6 進 路 指 導	7 成 績 ・ 出 欠	8 時 間 割 制 等 務	9 学 校 事 務	10 ク ラ ブ 活 動	11 そ の 他
小学校	84.3%	9.0%	0.7%	3.7%	7.9%	0.3%	1.1%	0.7%	4.4%	10.0%	2.0%
中学校	82.3%	10.4%	0.7%	3.2%	5.0%	16.1%	2.3%	0.7%	4.3%	14.7%	2.3%
計	83.7%	9.4%	0.7%	2.6%	7.1%	4.8%	1.5%	0.7%	4.4%	11.3%	2.1%

③ 教育機器導入上の障害となる事項

項目	1 設 備 不 足	2 研 修 不 足	3 P R 不 足	4 時 間 不 足	5 熟 意 不 足	6 そ の 他	7 無 回 答
小学校	61.9%	4.0%	1.9%	18.3%	2.9%	0.3%	10.8%
中学校	54.8%	4.7%	2.3%	15.1%	2.3%	1.3%	19.4%